

科目4 そば打ちの身体学・心理学・論語

	受検番号	氏名

問1：身体を動かすためには、筋肉を動かす必要があります。筋肉を動かすためには、脳からの指令が必要です。授業では、脳からの指令が筋肉に伝わるまでの仕組みを、図で説明しました。この説明を文章でも示してください。また、筋肉からは脳にも情報が送られます。筋肉の正しく健康的な働きを維持するためには、この「筋肉と脳のキャッチボール」が大切です。そば打ちではこれがどのように実現されているか、あなたの考えを書いてください。

脳は周りからの情報（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、体性感覚）を得て、脳幹網様体が中心となつて筋肉を動かす。筋肉に指令を出して直ぐに、情報も受け取る。筋肉を動かすプログラムは小脳に記憶されており、筋肉を動かすまでの指令の流れは、前頭葉から脳幹網様体へ小脳から脳幹の網様体、筋肉となる。そば打ちのすべての作業では、五感や筋肉をフルに使う作業が続きます。例えば、練りでは、一定の圧力だけではなく、粗練り、本練り、

菊練りなどがあり、体重のかけ方や筋肉の使い分けも多様です。延しでは、麺棒を前後するので体重移動も大きく使います。足や腕を移動しながら、手に伝わる感覚を微妙に調節して麺棒で延していくなどは、瞬時に筋肉と脳のキャッチボールをしてそば打ちをしています。

問2：切りの最後に三角形の切りくずを残さない等、畳んだ生地の最後まで屑にしないための「逆行分析に基づいたアドバイス」を記してください。

丸延しでの2案を述べてみます。

(案1) 完成した(直径100cm)正円に延した生地を、下から二つ折りにして、左右のどちらから二つ折りにします。次に麺の長さを考慮し、下から21cmの所まで折る。この時点では重ねた部分は、4枚と6枚ができる。4枚部分を切り離す。この二つを切るのだが、弧の部分ができる。切り始めは普通に切り進め、弧に差しかかるやや手前から上部の切り幅にに対し下部はやや広くして切る。切り離した部分も同様に切る。

(案2) 案1では21cmの所で重ねたが、麺の長さは長くなるが、先端で折り重ねる。切り始めは普通に切り進めて、生地が重なった弧の部分に(下部にある)差しかかる手前から

上部の切り幅に対し下部はややや広くして切
る。

問 3：人に物を教え伝えることについて、べ人に
中国の代表的な思想家孔子は、決して本切る（く
て話をすことはなく、ヒントを与えて大切に
や仲間たちと考え議論させることを大あ罔（く
していきました。これこそ『論語』にしつつ局から
「学びて思わざれば則（すなわ）ちに結わから
ら）し」（教えを受けても、それに結わから
自分で考えることをしなければ、結わから
教えは單なる受け売りではつきりわから
いものになってしまふ）でしよう。

さて、次の孔子の言葉を読み、果たして
この教えから質問者に孔子は何を伝えたか
ったのか考えてみましょう。

【本文】

孟武伯問孝。子曰、父母唯其疾之憂。

【読み方】

もうぶはくこう
孟武伯孝を問う。子曰く、父母は唯だその
やまいこれ憂う。

【注釈】

- 孟武伯 … 国で実権のある家の一つ、
孟氏の長男。
- 孝 … 親孝行のこと。昔からこの親孝
行が大切にされてきた。
- 子 … 孔子のこと。荒れ果てた国を良

くするため尽力した男。

○ 疾…病気のこと。

【意味】

孟武伯が親孝行とはどういうことなのかを質問した。

先生がおっしゃることには、「ご両親はただ病気のことだけを心配するものだ。」

【問題】

この回答のままで終わってしまっては結局「どうすることが親孝行なのか」という孔子の真意までには達していない回答になってしまふ。よってこれまで学者の解説では代表的なものに次のような考え方がある。

① 結局親孝行とは、子供は病気をしないで健康でいづけること、を孔子

は伝えたかった。

② 結局親孝行とは、子供は病気以外の素行で迷惑をかけないこと、を孔子

は伝えたかった。

③ 結局親孝行とは、親自身が自分の

病気を気にするよう仕向けること、を

孔子は伝えたかった。

などがある。

さてこの学者の解説いづれかに賛同する人は①②③いづれかに○をした上で、その説に賛同する理由を考え自由に書きなさい。またいづれの解説にも賛同しない人は、自分の考えた解説を自由に書きなさい。※この言葉がいつどこでどの場面で話されたのかは不明であり、かつ抽象的な發言であるため解釈が色々できるのは当然である。よって自由に考えて述べていただきたい。

貴族の子であつた孟武伯。貴族は、贅沢や我
儘な振舞が多く、恐らく孟武伯はあまり健康
に恵まれていなかつたのではないでしょか。
両親は身体の弱い孟武伯をいつも心配してい
たことでしょう。故に「親より先に逝く子供
ほど親不孝はない」というのは古くから現代
まで続く道徳律です。病は生きとして生ける
ものを死に至らしめる元凶です。人の世にあ
つては、どんな人でも自己の不摂生で病氣に
かかってしまうから、不摂生をせず、親の心
にそつて自分の健康に注意しあつまでも元氣
でいることが、親孝行だと伝えたかったので
はないでしょうか。もちろん、親の憂いとな
るような悪いことはしてはいけないとも教え
ているようだ。